

OVER80 教育分科会：第1回編集会議記録

日 時：2022年12月22日（木）15:00～17:00

場 所：Zoom 会議

出席者：本田安弘、宮崎泰雄、保坂洋（記）

[結論要旨]

1. 上梓本は、以下のような構成としてはどうか。
 - （1）序文
 - （2）経緯
 - （3）教育システムへの提言編**
 - （4）現場の教育者への助言、著者の体験編**
 - （5）専門家による意見交換会（平尾氏、牧野教授、平尾氏が推薦する方等）**
2. 読者が理解し易いように、各著者から「教育システムへの提言」と「現場の教育者への助言、著者の体験編」に分けて、最大 A4 一頁以内（1,000 文字以内）程度で要旨を書いていただいてはどうか。

[議事要旨]

1. 教育分科会は、当初は、教育制度改革への提言を目的としていた。しかし、分科会でのその後の議論や専門家の意見を伺う中で、もう少し、広い視点からの教育改革での提言や経験からの示唆も含んで良いとの意見も出てきた。
実際、今回頂いた草稿は、素晴らしい内容の体験からの提言や示唆が主であり、今後の教育に対して示唆に富むものであった。
当初の教育システムへの提言にするか、体験からの示唆・助言のどちらかに、本書の目的を明確にすべきとの意見も出たが、著者の要旨に沿って、折衷的な構成としてまず提案することにした。
2. 各位に書いていただいた草稿は、素晴らしい内容を含むが、読者（官庁、教育委員会、現場の教諭、教育に関心のある者）に示唆を感じてもらうためには、さらに整理するとより良くなるのではないかと。
3. その一つの方法として、各著者から「教育システムへの提言」と「現場の教育者への助言、著者の体験編」に分けて、最大 A4 一頁以内（1,000 文字以内）程度で要旨を書い

ていただく提案を皆様へ実施する。

4. それを論文のように、各著者の冒頭に「要旨」として記述すると、理解が進むのではないか。
5. 著書の冒頭か巻末に、それらをまとめた「要旨の要旨」を掲載することも、興味を持たせ、深く読んでもらうために効果的ではないか。

以上